

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：水辺再生課  
 担当名：河川維持担当  
 内線：5114

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B108	先進的河川調査費		一般会計	土木費	河川費	河川総務費	ダム等施設管理費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	河川法第9条、第15条の2、第17条、第66条			宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	
					分野施策	020518 治水・治山対策の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
IoTやAI等の先進的な技術により、公共事業における生産性の向上や作業の効率化・省力化を図るため、ドローン等を活用した河川・ダムの3次元測量を実施する。3次元測量データを活用し、河川の課題に対して効率的・効果的な対策を実施するとともに、点検の代替手法やICT施工への活用といった河川事業における幅広い展開を図る。 (1) ドローン等による3次元測量 △1,887千円			(1) 事業内容 ドローン等による河川・ダムの3次元測量 (2) 事業計画 入間川：河床変動状況を把握し、3次元データをICT施工に活用して河床低下対策を実施する。 ダム：有間ダム上流部の流入土砂を把握し、貯砂堰堤の設計を実施する。 (3) 事業効果 ・3次元測量により河床変動が起きている箇所や堆砂している箇所を正確に把握することで、効率的・効果的な対策を図ることができる ・測量したデータは、点検の代替手法やICT施工にも活用することができる。 (4) 補正の概要 事業費の確定に伴う受託事業収入の減額補正					
2 事業主体及び負担区分			河川（県100%）、有間ダム（県66.4%、企業局14.4%、飯能市19.2%）					
3 地方財政措置の状況			なし					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			(1) 事業費に係る人件費 9,500千円×1.0人=9,500千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし					
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
決定額	△1,887	諸収入	△1,887				0	13,206
現計額	15,093		3,784				11,309	